



復興と地方創生の現在地

～世界に開かれた“SDGs 未来都市”を目指して～

Sustainable Reconstruction and Community Development

～Towards an Open and Global “SDGs Future City”～

釜石市長 野田武則

Takenori Noda, Mayor of Kamaishi





釜石市の被災状況 The Extent of Disaster Damage in Kamaishi City

東日本大震災 The Great East Japan Earthquake
死者・行方不明者数 Dead or Missing; **1,040**
市内避難者数 Evacuees; **9,883**

約 3 割の住宅が被災 (4,658戸 / 16,182戸)

Damaged houses; **30%**

約 6 割の事業所が被災 (1,382 / 2,396事業所)

Damaged businesses; **60%**

家庭ごみ 50 年分のがれき・津波堆積物 (約 100 万トン)

Rubble; **1,000,000t**



目指すべき将来像「三陸の大地に光輝き希望と笑顔があふれるまち釜石」

The future we are striving for: Kamaishi, a bright town full of hope and happiness on the Sanriku Coast

復興まちづくり基本計画（10年） Master Plan for Reconstruction and Development (10 Years)

応急・前期（3年）H23～25

被災状況に応じた復旧・復興

Urgent/Early Stage (3 years)

2011 ~ 2013

Recovery/Reconstruction in response to the state of damage

中期（3年）H26～28

希望や可能性を追求した復興

Middle Stage (3 years)

2014 ~ 2016

Recovery in pursuit of new hope and potential

後期（4年）H29～32

次世代に誇りうる取り組みにより、地域の新たな自立を目指す

Final Stage (4 years)

2017 ~ 2020

Sustainable development future generations will be proud of

[3つの基本理念 The Three Key Ideals]

1.人々の意識や行動のあり方への喚起

Awakening people's awareness and behavior

2.希望と可能性の追求

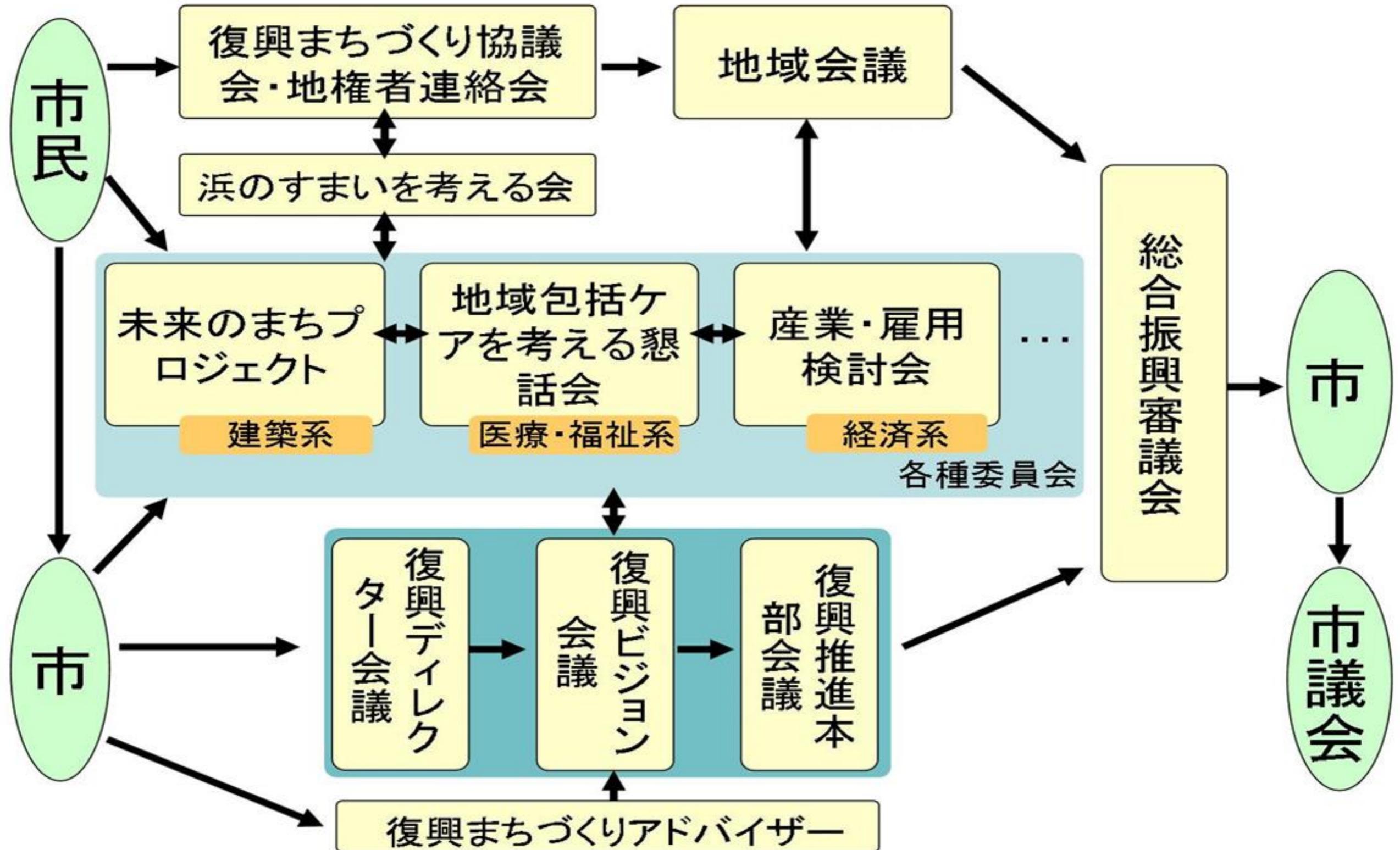
Pursuing hope and potential

3.歴史に学び、さきがけとなるまちづくり

Learning from history and developing a innovative city



復興まちづくりの進め方

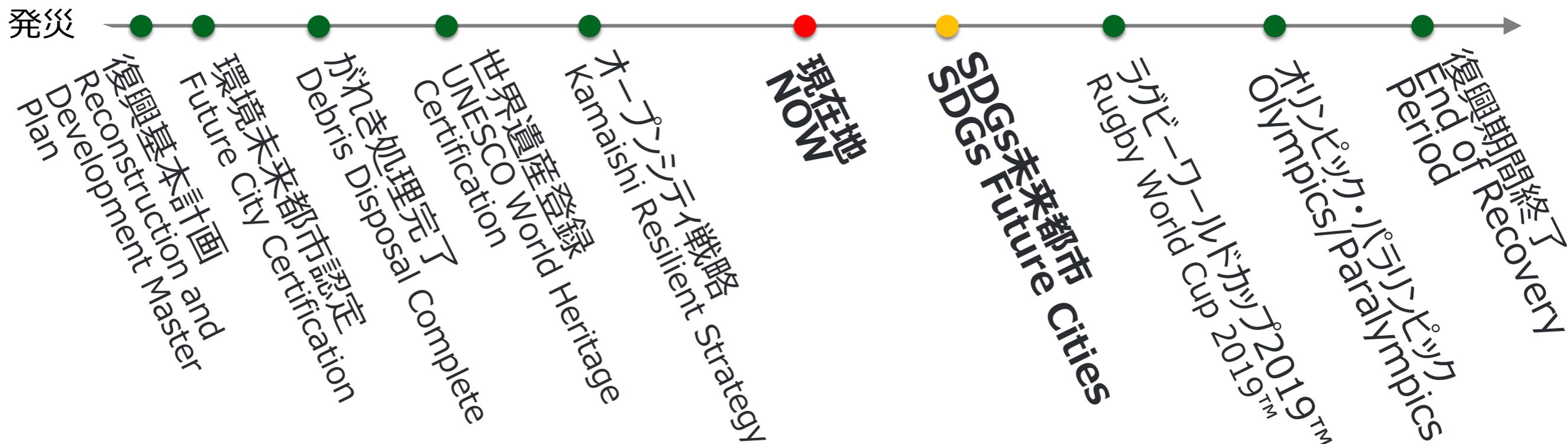




真の“復興”には3つのフェーズがあり、最重要課題は**持続可能性への挑戦**。

True “Recovery” has three phases, and achieving sustainability is the key challenge

＜復旧・復興プロセスの概観＞



官民のパートナーシップによる未来への投資が重要
Investment in the future through Public/Private Partnerships is vital

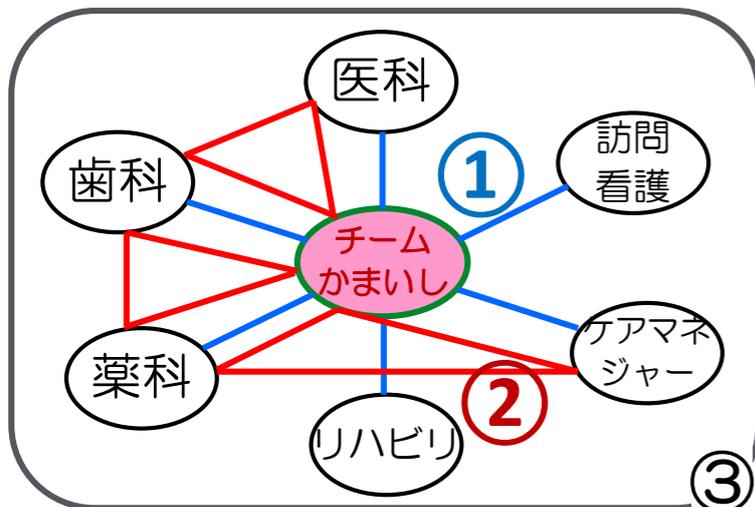


環境未来都市構想の成果 Outcomes of the Future City Initiative (FCI)



【環境】スマートシティ創造への取組

【Environment】Efforts towards development of a Smart City



【超高齢化】地域包括ケアの推進

【Rapidly Aging Population】Implementation of Comprehensive Regional Care



【交流】フィールドミュージアムの展開



【Social Exchange】Official Opening of the Field Museum



環境未来都市構想の成果とオープンシティ戦略を掛け合わせてSDGs未来都市へ

Towards the SDGs "Future Cities" Initiative:

Combining the Outcomes of the Future City Initiative (FCI) and the Kamaishi Resilient Strategy

釜石市環境未来都市構想

低炭素・省エネ・省資源による資源循環型社会

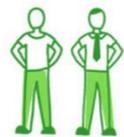
自分の役割に喜びを感じながら暮らせる共助のまち

人と人、まちとまちが繋がる交流都市

三陸の大地に光り輝き、希望と笑顔があふれるまち



オープンシティ戦略（地方創生戦略）



活動人口、つながり人口が増加することによってもたらされる活力



社会研による将来推計 将来の人口展望

活動人口

Active Population

…経済活動・コミュニティ活動にアクティブな市民

つながり人口

Connected Population

…市外から釜石に関わる企業・人



SDGsとして重要なもの



男女共同参画



民間企業との連携



大学との連携



SDGs未来都市
SDGs Future Cities

多様なつながりを育み、誰もが自己決定を実現できる、レジリエントな地域社会

Regional communities that foster diverse connections, in which anyone can achieve self-determination



多様なパートナーシップ（大学連携） Diverse Partnerships (Universities)

岩手大学 釜石キャンパス開設

The Opening of the Iwate University Kamaishi Campus



東京大学と協働で「危機対応学」をスタート

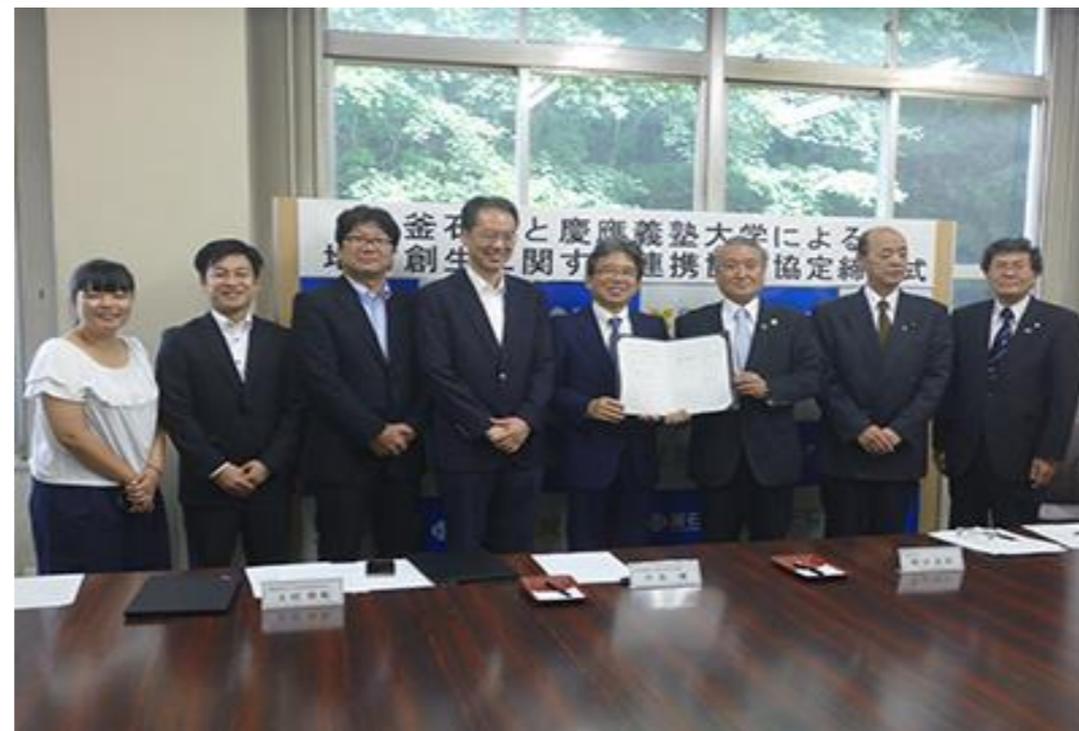
Commencement of "Emergency Response Studies" in collaboration with Tokyo University



慶應義塾大学SFCと

地方創生に関する連携協力協定

Cooperation Agreement for Regional Development with Keio University SFC





多様なパートナーシップ（企業連携） Diverse Partnerships (Corporations)

17 パートナーシップで
目標を達成しよう

4 質の高い教育を
みんなに

高校生に対するキャリア構築支援釜石コンパス

Kamaishi Compass: Career Building Support for Senior High School Students



17 パートナーシップで
目標を達成しよう

8 働きがいも
経済成長も

Airbnbと連携した民泊推進、ミートアップ釜石、オープン・フィールドミュージアム構想

Promoting home-stay style accommodation in partnership with Airbnb/Meetup Kamaishi/Open Field Museum Concept

9 産業と技術革新の
基盤をつくらう





多様なパートナーシップ（人材の還流） Diverse Partnerships (Welcoming Young Professionals)



移住 & 起業を地域として支援する
「釜石ローカルベンチャーコミュニティ」
“Kamaishi Local Venture Community”
Regional support for inbound migration
and entrepreneurship



多様なまちづくり団体や企業を支援し、
地域の土壌を耕す「釜援隊」

The “Kamaentai”

Fostering the foundations of the region
and supporting diverse community
development groups and businesses





パートナーシップ推進でSDGsを実現 Implementing the SDGs through the Formation of Partnerships

法政大学 川久保研究室と協働し、ステークホルダーへのヒアリングや実装方法の検討を実施中
2017年3月にSDGsをテーマにフォーラムを開催し、120名が参加（行政としては東北初）

Stake holder hearings and analysis of implementation methods have been conducted in collaboration with Hosei University's Kawakubo Lab. An SDGs Forum was held in March 2017, with 120 participants. (A first for a Tohoku-based administration)



岩手大学釜石サテライト



創作農家こすもす



一般社団法人RCF



釜石地方森林組合



岩手銀行釜石支店



2017.3.18開催
オープンシティフォーラム



今年度中にSDGsを盛り込んだ釜石市オープンシティ戦略を公表予定 Official Announcement Plans (FY2017) Incorporation of the SDGs into the Kamaishi Resilient Strategy



釜石市環境未来都市計画 × S D G S

釜石市オープンシティ戦略 × S D G S



OPENCITY FORUM 2017

持続可能な世界と、地域と、私たち。

10月7日(土) 15時
チームスマイル・釜石PIT

～サステイナブルツーリズム×シェアリングエコノミー×SDGs～

私たちの暮らしやビジネスは、今後どのように変化していくのか。ポスト復興を見据えた持続可能なまちづくりとは、何を意味するのか。「サステイナブルツーリズム」「シェアリングエコノミー」「SDGs」という、3つのグローバルな視点から、釜石市の地方創生ビジョン「オープンシティ戦略」を見つめ直し、具体的なエピソードとともに地域社会の未来と可能性を探求します。

10月7日はぜひ釜石へお越しください！

Please come join us in Kamaishi on October 7!

GUEST SPEAKER & PANELER ゲストスピーカー&パネラー



長坂 康正氏
内閣府大臣政務官
兼復興大臣政務官



坂元 英俊氏
一般社団法人
島原半島観光連盟専務



佐別当 隆志氏
一般社団法人
シェアリングエコノミー協会事務局長



荒井 一洋氏
NPO 法人
日本エコツーリズムセンター理事



川久保 俊氏
法政大学デザイン工学部
建築学科 専任講師



藤井 サエ子氏
創作農家こすもす/
釜石市甲子地区活性化協議会 会長



山田 周生氏
一般社団法人
United Green 代表理事



戸塚 絵梨子氏
株式会社パソナ東北創生
代表取締役

MODERATOR
モデレーター



石井 重成
釜石市
オープンシティ推進室 室長

SCHEDULE スケジュール

15:00 ～ オープニング

柏崎 龍太郎 氏 (釜石シティプロモーション推進委員会 委員長)
長坂 康正 氏 (内閣府大臣政務官兼復興大臣政務官)
野田 武則 氏 (釜石市 市長)

15:20 ～ キーノートスピーチ

「持続する地域のための観光のあり方」
坂元 英俊 氏 (一般社団法人島原半島観光連盟 専務)
「シェアリングエコノミーが変える、ビジネスと人々の暮らし」
佐別当 隆志 氏 (一般社団法人シェアリングエコノミー協会 事務局長)

16:20 ～ パネルディスカッション

「持続可能な世界と、地域と、私たち。」
パネリスト：佐別当 隆志 氏、荒井 一洋 氏、川久保 俊 氏
藤井 サエ子 氏、山田 周生 氏、戸塚 絵梨子 氏
モデレーター：石井 重成

17:30 閉会

18:30 ～ KAMAISHI NIGHT
Meetup Kamaishi 参加者交流会 ※事前申込制

日 時 2017年10月7日(土) 15:00～17:30

入 場 入場無料 (申込不要 / 入退場自由)

場 所 チームスマイル・釜石PIT (釜石情報交流センター内)

問 合 せ 釜石市オープンシティ推進室 ☎0193-27-8463